

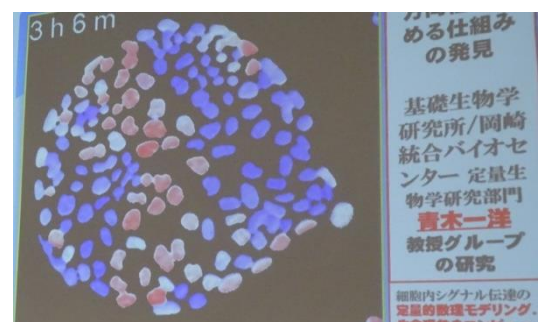
⑥ 生物と細胞の研究

—テンセグリティ作り—

第6回目は最終回、音田講師らによる「生物と細胞の研究」・・・細胞って何だろう・・・常に新たに誕生する細胞、常に動いている細胞を拡大し観察していきます。後半は、テンセグリティ(tensegrity)なる構造体を作成、圧縮力と張力のバランスを確認します。参加受講生は、27名(小学校3～6年生)。

<受講生のアンケートより(抜粋)>

- 細胞のことについて良く分かりました。人間の細胞が200種類もあるのにおどろいたし、71年も生きる細胞があるのにもおどろきました。今までの科学実験教室最高でした。
- セロハンテープをヒフに貼るとテープについているのが、いらなくなった細胞だということがわかりました。それに人の細胞が約40兆個くらいあることがわかりました。細胞知れて楽しかったです。
- 今日初めて知ったことは世界で初めて細胞を発見した人が、ロバート・フックという人で、自分で顕微鏡を作って見たというのがすごい。もう一つは単細胞生物ではない多細胞生物の人間の肝臓をゾウリムシみたいに生かして培養できることがとてもすごいと思った。
- ついさっきまで細胞なんて言葉だけ知っていて分かるのは生き物の体にあることくらい。でもここに来たおかげで、細胞のことを知れてとても満足しました。(ほんとうにすごくおもしろくてこのイベントを知ったのが、小2じゃなく小1の頃だったらよかったと思います。来年が小5で再来年が小6なので再来年までできます。
- 今回が最終回、また来年も参加したいです。
- 生きているとはどういう事なのか謎だらけだったけど今日の授業で知れてよかったです。顕微鏡も見たことのないものなのでその顕微鏡で物を観察できて興味深く楽しかったです。実際に本物の玉ねぎなどしっかり内容をつかめるようにしてくれたので良く分かったしモニターにも“こうなっているはず”という画像があつて顕微鏡がしっかり使えていると分かって安心しました。今回もありかとうございました。



⑥ 生物と細胞の研究

—テンセグリティ作り—

<受講生のアンケートより（抜粋）>

- ・細胞といえばむずかしいイメージだけどよく分かりました。自分の体の細胞は常に動いていると聞いたら 動いているように見えてきました。私の将来の夢は、薬剤師なので勉強するときに役立つと思います。ありがとうございました。
- ・みかんは 木からとったら死んでいるけど、細胞は生きているから 「生きているとも死んでいるともいえると初めて知りました。とても楽しかったし とても分かりやすかったです。
- ・細胞がいつも動いていてびっくりしました。セテープに一枚一枚の細胞が死んでいたのがすごかったし、1年たったら細胞が別人になることに おどろきました。でも人は別人じゃなくてよかったです。またやりたいので待っています。
- ・一つの細胞でできている生物がいると知ってとてもおどろきました。細胞はいつも動いています。細胞が動くのをやめるとどうなるのか気になります。また開いてくれたら絶対きます。
- ・いつも科学教室がある日を楽しみにしています。今日も楽しく分かりやすく学習できました。この教室があったおかげで 科学が好きになった気がしました。今日で終わるのが本当に残念です。
- ・6年生や5年生くらいの人たちがいっぱい発表していてすごいなーと思っていました。私は手をあげられなかったけど学校や今度また科学教室に来るときは いっぱい手をあげたいと思いました。今日で最後というのはさびしいけれど、科学教室で習ったことを学校でふりかえって 100点を取りたいと思いました。
- ・今回の授業で 細胞は私達の体でいつも動いているということです。細胞があるから 私達人間や生物が生きていけてとても大切だということを考えました。野菜や人の体を顕微鏡でのぞいてみると、細胞をみることでとてもおどろきました。科学で細胞について知ることで 自分達の体や健康のことを考える機会になるのではないかと考えました。 今までありがとうございました。



センテグリティ
(森下講師他)